

## (1) ②様式第1号—2 (計画書)

教職大学院と教育委員会の連携・協働支援事業 (NITS カフェ) (第3回申請)

### 1 案件概要

#### (1) セミナー名【NITS カフェ in 宮崎大学】

「教員の働き方改革を考える」～学校・地域の連携を通して～

#### (2) 開催日時：平成31年1月22日(火)

#### (3) 開催場所

施設の名称：宮崎大学教育学部・地域資源創成学部第1会議室

TEL 0985-58-2889

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

#### (4) 参加予定人数と参加者の属性 (70名)

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| ○ 地域住民 (発表者として)    | 4名  |
| ○ 教諭及び管理職 (発表者として) | 16名 |
| ○ 宮崎県教育委員会教職員課     | 6名  |
| ○ 宮崎県教育委員会生涯学習課    | 4名  |
| ○ 宮崎大学教職大学院教員      | 13名 |
| ○ 教職大学院生           | 17名 |
| ○ 教職実践基礎コース3年生     | 10名 |

#### (5) 登壇者 (講演者、発表者、パネラー、ファシリテーター等) 22名

- ① 説明者 宮崎県教育委員会担当者 (教職員課、生涯学習課) 2名
- ② グループディスカッション (4つのグループにわかれる) 5名×4グループ=20名
  - 発表者として 地域住民4名、教諭及び管理職16名

#### (6) テーマ： 「学校・地域の連携の促進を通して教員の働き方改革を考える」

#### (7) テーマの詳細などの企画概要

本セミナーは 学校の業務支援で活躍されている地域住民の方々4名と県内の教員20代、30代、40代、50代 (管理職含、各年代4名ずつ合計16名) に参加してもらい、学校・地域の連携の促進を通して教員の働き方改革を考える。

特に、学校経営方針の共有を図りながら放課後の学習支援や地域ボランティアとの連携構築などに積極的に関わっておられる地域住民の方々に発表して頂き、学校の業務を軽減するために、学校と地域との連携構築をどのように図っていけばよいか、また今後どのような取り組みが必要かグループディスカッションを通して深めていくなかで、教員の働き方改革を考える。

#### (8) 進行プログラムの概要 (180分 休息11分含む)

- ① 挨拶 (10分)
- ② 県教育委員会の説明 (教職員課、生涯学習課) (20分)
- ③ 29年度の第1回NIT大賞「多忙化の改善」部門エントリー事例発表 (ユーチューブ)  
「コミュニティによる学校業務支援：学校における働き方改革事例」(7分)
- ④ 発表・質疑 地域住民4名 (60分 10分×4、質疑5分×4)
- ⑤ グループディスカッション (50分)
- ⑥ グループディスカッションの発表 (12分)
- ⑦ まとめ (宮崎県教育委員会、宮崎大学教職大学院) (10分)